

特別講座「心理学入門」



いろいろな視点から

ものごとを見てみよう！



去る8月24日(木)、午前11時より、会議室1にて、特別企画「心理学入門」を行いました。

学年問わず心理学に興味を持っている人が集まりました。錯視図形やだまし絵の作品を見たり、少し専門的な「フォールスメモリー」について実験をしてみたりと、心理学により興味を持ってもらえる内容が盛りだくさんでした。

講座の最後には、まとめとして、いろいろな視点から問題の原因を考えることに取り組みました。例えば、「ある雨の日にテレビの映像が映らない。なぜか?」、この問題の原因を考えたとき、「雨」にこだわってしまうと、思考が限定されてしまいます。コンセントが抜けていただけかもしれない、押したスイッチが間違っていたのかもしれない。なるべく多く、しかも多様な視点から問題を観察する練習を行いました。

上の写真は、問題の原因を考え、それを仲間と共有している様子です。自分の中になかった視点や考えを知ることは、誰にとっても楽しいことです。全体で面白い意見を共有したときは、笑いが起こっていました。また、これを何回も繰り返すことで、トレーニング前よりも格段に原因を推量できた人もいました。生きていく中で何かしら問題にぶつかることは避けられませんが、そのときこの講座で学んだ「いろいろな視点からものごとを見る」ことを生かして解決して欲しいと願っています。

近年、「メタ認知」を重要視する声が各界で挙がっています。メタ認知とは、自らの思考や行動を俯瞰し、客観的にとらえることをいいます。これから、教育現場においてもメタ認知能力を伸ばすことが必須事項となってくるでしょう。今回の学びは、このメタ認知能力を育成するひとつの方法といえるかもしれません。今後も心理学の手法を用いた学びを実践していきたいと思えます。

(国語科 村上準)